

第17回 第5分科会会議録（概要）		場 所	新宿区役所 第二分庁舎 1-⑦会議室
日 時	平成18年2月16日 午後7時00分～午後9時20分	記録者	【学生補助員】 渡辺・平
		責任者	区事務局（松浦・池田）
<p>会議出席者：24名 （区民委員：18名 学識委員：1名 区職員：5名）</p>			
<p>■配付資料</p> <p>① 第16回会議録 ② 中間発表会資料 ③ 中間発表会役割分担について ④ 3月の日程のお知らせ ⑤ 平成17年度新宿区区民意識調査（要約版）</p> <p>■進行内容</p> <p>1 はじめに 2 リーダー・サブリーダーからの報告 3 リハーサル・意見調整 4 中間発表会の役割分担 5 学識委員より 6 事務連絡</p> <p>■会議内容</p> <p>【発言者】●：区民委員、◎：学識委員、○：区職員</p> <p>1 はじめに</p> <p>○： 配付資料の確認（5点） 前回の分科会后、有志の方も含めて2月5日（日）に素案づくり会議を開きました。そこでの検討経過について、リーダーから後程ご説明いただきたいと思います。中間発表会の役割分担については、前回に続きもう一度皆さんで確認をしていただきます。また、配付資料②「中間発表会資料」に基づいて、パワーポイントを使って、発表のリハーサルを行います。ではリーダーの方から今までの検討経過についてお願いします。</p>			

2 リーダー・サブリーダーからの報告

- : 途中経過を簡単に説明します。配付資料②の3～5ページがパワーポイントで当日発表する資料です。配付資料については、今まで討議を進めてきた素材も入っていますが、前回の分科会での検討内容もふまえて、2月5日に素案づくり会議をして作成しました。これらの資料はあくまで途中経過ということで万全なものではございませんが、今後、中間発表の後でもっと詰めていくという方向でよろしくお願ひします。「中間報告にあたって」という文章は今までの流れを他の分科会の方にご報告するという形でまとめております。それからパワーポイントの図表はアウトラインがつかみやすいように作成したもので、大掴みな図ですのでご了承ください。発表のリハーサルは、20分の時間をどう使うか十分な準備は出来ていませんが、今日ご指摘があったことで改善して2月19日までに完成したいと思います。それから私見ではありますが、4本柱の最後の新宿近未来というところですが、10年20年後の新宿ということでもう少しイメージを提供したいと思います。今まで具体的に出て来た駅前のスペースで道の駅に代わるような施設を作り、情報を収集、発信していくとか、図書館機能を高度化して情報発信の基地にしていくとか提案がございました。今まだ十分に討議されていないこともありますが、みなさんがこれならまあ一応方向として良いのではないかとということがございましたら、2～3つの事例を実際の図表に入れた方が他の分科会の方にはより分かりやすいかと思ひますので、そのあたりもお諮りしたいと思います。
- : どうもありがとうございました。この後リハーサルになりますが、いろいろなご意見を発表に反映されればと思ひます。20分ということで実際に時間も計りながら行いたいと思ひます。

3 リハーサル・意見調整

- : それでは、リハーサルということですが、20分という時間を守りながらと思ひしております。それでは、発表いたします。第5分科会の大きなテーマとしては、「伝統と創造」ということになりました。伝統というのは、新宿の歴史というのが、江戸時代以降、特に新宿という宿場の開設以降、長い歴史があるということをおまえて、伝統ということでお括っておりますのと、創造は、特に近年、新宿の都市開発というのが、非常に大きくなっておまして、その中で、新しい文化や産業がどんどん創造されている現代の状況を創造ということでお括しております。キャッチフレーズとしては、「ニュー・しんじゅく、新・しんじゅく」ということになろうかと思ひます。ここに出ましたように、第5分科会は3つのテーマをいただいております。「産業、文化・観光」ということになります。産業というのが、一番重要なテーマでありま

して、私たちの生活の基盤がこれで構成されているわけです。新宿は、伝統産業からIT産業まで、非常に幅広い産業を持っているわけであります。特に都心産業という言い方が適切かわかりませんが、立地・環境・経済的条件など、都心の中で産業をやっているという制約の中で、新しい産業をどう捉えていくか、ということになります。その中に伝統産業・商業・新産業という区分けをしましたが、伝統的な産業、非常に多い商業（100以上の商店会が、新宿にはある）、IT産業に象徴される新産業、これらを包括して産業と捉えております。文化というのは、人間の作ってきた歴史のあるものから、宗教的な社寺仏閣、文学者の作品、画家の絵画、音楽、そういうものを包括的に考えて文化というのがあるわけですが、産業と文化というのは、相独立するものではなく、産業も一つの文化であり、文化から産業が生まれていく、クロスしている図表からもわかるように、重複している部分があります。

第5分科会で一番議論になったこと、結論としたいことは、観光・文化・産業というのがイープンにあるのではなく、産業も文化も、観光になりうる、という意味で、産業・文化を包括する形で観光というものが存在する、と捉えております。

次は、観光・文化・産業を、現状ではどうなっているのか、私たちはどのように解決したいか、ということをお話し合ったことを示しています。産業の再構築とありますのは、現状の伝統産業は、立地・環境・後継者など様々な問題を抱えています。同時に、商業も成功している商店街ばかりではなく、シャッターが下りている商店街も最近は見かけます。それらを含めて、どういった方法で伝統を生まれ変わらせ、商店街を活性化し、新しい産業をバックアップしていくか、そういった問題意識を産業の中で考えてまいりました。次に、高度な質量の文化があります。新宿は文化が盛んなまちですが、さらに江戸時代から続く文化を掘り起こし、新しい文化とネットワークしていく必要もあるし、若い人を中心に様々な新しい文化の萌芽が出てきているので、伝統文化と新文化を混合させていくことが必要ではないか。質・量ともに活性化ということを考えていきたいと思っております。

次に、観光ですが、現在行われている観光が、21世紀の人々に、それだけで本当によいのかということを考えていきたい。伝統観光という曖昧な言葉は、社寺や高層ビルの展望台から眺める従来の観光よりは、時代にマッチしていく事業を行いたいということです。産業自体の観光化ということで、伝統産業の染物などを見せ、ネットワークしてツアーを組むとか、新しいオペラシティや、単独ではなく、楽しいアプローチを作り、芸術の拠点箇所をゾーン全体として開発していくことを含めて、個性と創造的な観光ということを考えていきたいと考えています。

次に、産業・文化・観光の3つの柱（実際には、産業・文化と、それを包む観光という意味）をどういうふうに解決していくかというプロセスを、現状分析・問題点を洗い出す、という作業を進めていくことになっております。お配りしている資料

の中に、いろいろな項目が抽出されておりますので、ご覧いただければと思います。問題点が明らかになり、現状が分析された結果、新しく区民を巻き込んで改善する方向というのを、行政だけでなく新宿区民も含めた改善策の方向性をここで出しているということになっています。これは、新宿区民会議の作業の内容そのものになるわけですが、その方向性をまず、つかみ出して行って、そこから新宿近未来の、10年後20年後の新宿の姿を思い浮かべながら、具体的な解決策を提案していくことになろうかと思えます。

この流れを、強かにバックアップしていくのが情報発信・収集ということになると思えます。情報をつかみそして整理して、そして分析してその中から多くの人に発信して問題点を明らかにし、さらに様々な層の人々の関心を引き出していくためには、情報作業というツールが不可欠でございます。コミュニケーションが不足しますとミスコミュニケーションになり、改善点がわかっていても、うまく解決に導けなくなります。また、マッチとは、様々なアクションが上手く適合しないとミスマッチになって、良い近未来には到達できないし、インフォメーションも伝達を十分にしていけないと、ミスインフォメーションになり、多くの方がここに参加できなくなってしまいます。この作業を、1～4番目の柱の、すべてを貫く大事なベースとして情報に対して、積極的に開発・取り組みをしていくことになります。説明は以上です。

これはまだ中間段階での提示ですので、今後、改善と解決の方向性そのものについて、議論を深めて、解決策をご提案する形で、作業を進めていく予定です。細かい資料については、お手元に配りました資料に、中間報告一覧表というのがございまして、どうしたいのか・現状と問題点・改善と解決の方向性・10年後20年後の新宿のイメージと4つの区分に整理されています。大体これで、新宿の現状と問題点については、出し尽くしているのではと思えますが、不足しているようでしたらぜひ、他の分科会の方々からご意見をいただきたい。改善と解決の方向性というのは、実際の新宿の施策に反映出来れば、大変有意義な区民会議となるのではと思えます。いくつか今までに議論されてきた事例がありますので、それらを2分程度説明すれば良いと思えます。

○： どうもありがとうございました。今の発表について、具体的なご意見をお願いします。本日発表の最終版を完成したいと思います。

意見交換

◎： プレゼンテーションの技術としては、細かい文字は無いほうが綺麗です。キーワードを書いて、口頭で説明するのが、アメリカ的な発想です。技術的なことでは、細かい文字は落とすのが鉄則ではあります。

- : パワーポイントではなく、発表者のプレゼンで補足していただきたいことがあります。5-5ページにつなげて、働きたくなる・行ってみたくなる・住みたくなるまち、という事を含めてお話をさせていただけたらと思います。産業・文化・観光の融合性、つながりを持たせながらお話をした方がよいのではと思います。
せっかく産業・文化・観光という3つが出てきているので、ここだけで終わらせず、常に3つを意識し、そのつながりを念頭において発表して欲しいと思います。
- : そのようにしたいと思います。働きたくなるまちというのは、どういうことですか
- : 最終的には住みながら働くことにつながると思うが、まだ、働きたいまちを、具体的にどんなものかきちんとイメージできていない。
- : 御用聞き、まちの駅、図書館をまちの情報センターとして活用、など、一例をいれることにしましょう（全員合意）
- : 働きたくなるまちは、このままでよいでしょうか。「特徴のある産業の創出」よりも新しい言葉（例：マイスター制度、ふれあいサービスなど）を入れた方がよいのでは。
- : 資料はすでに印刷してしまっているため、パワーポイントと発表に取り入れましょう。（全員同意）
- : 行ってみたくなる・働きたくなる・住みたくなるまちについての事例として、ふれあい・図書館・まちの駅などを示すようにしましょう。一画面作成して、最終ページに入れます。（全員同意）
- : 新宿中央公園や、新宿御苑などの宝物が、新宿にはあります。夏場など、そこからの冷気が新宿をそれ以外のまちより、3度ほど低くしてくれます。こういったうるおいも、住みたくなるまち、ということで、新宿にはあると思います。クールアイランドのまちへ持っていくべきではないかと思います。現在の緑を大事にしていけば、住みやすい雰囲気になっていくのではないのでしょうか。
- : 新宿の緑比率は、さほど高くないのでは、と思います。緑を大事にしていくと同時に、創出していく提案をしてはどうでしょうか。
- : 環境・みどりは他の分科会の検討テーマなので、第5分科会では、文化等と関連付けながら検討していきましょう。
- : とりあえず、発表後の交流会で全部の分科会が集まって意見交換をしますので、ここで議論をすることも考えて、これまでのような形で中間発表を進めていくということでもよろしいでしょうか。（全員合意）

4 中間発表の役割分担

- : では、中間発表会役割分担の会場図を見てください。一枚目の舞台の上で各分科会の方に発表していただきます。皆さんは、第5分科会という表示がある座席に座つ

てください。午前の発表後に稼動式の椅子をしまい、午後の部は机と椅子を並べて会場設営します。午後は、各分科会のブースごとに座って交流を行う形で進んでいきます。当日の中間発表の役割ですが、出席予定者が、第5分科会は少ないので、ぜひ皆さん出席して下さい。当日は、12時半まで発表、その後1時間の食事休憩、午後は各分科会との意見交換です。

- ： 各自役割の確認
- ： ブースは2班に分かれて、対応します。ブースで受けた質問や意見は、受付カードに概要を記入してください。

5 学識委員より

- ◎： 第5分科会らしさ、華のある提案を出来るよう、期待しておりますのでよろしくお願い致します。

6 事務連絡

- ： 無断欠席で、一度も来ておられないような方には、中間発表会を一区切りにして、資料送付をやめようと思いますが、ご意見をお願いします。他の分科会では、無断欠席者には資料送付をしていないそうです。
(無断欠席者には資料を送付しないことに全員合意)
- ： 事務局では今回の欠席者通知に、次回から無断欠席者には資料送付しない旨を入れたいと思っております。よろしいでしょうか。(全員合意)

* 次回の分科会について

- ・ 3月7日(火) 午後7時～ 新宿区役所第一分庁舎7階研修室

以上